

みずほCustomer Desk Report 2018/08/27号(As of 2018/08/24)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.48
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	111.37	1.1542	128.52	1.2808	0.7244
SYD-NY High	111.49	1.1639	129.40	1.2880	0.7345
SYD-NY Low	111.10	1.1535	128.47	1.2800	0.7238
NY 5:00 PM	111.24	1.1621	129.30	1.2851	0.7326
NY DOW	25,790.35	133.37	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,945.98	67.52	日本10年債	0.1000	1.00bp
S&P	2,874.69	17.71	米国2年債	2.6223	0.40bp
日経平均	22,601.77	190.95	米国5年債	2.7148	▲0.86bp
TOPIX	1,709.20	10.98	米国10年債	2.8125	▲1.45bp
シカゴ日経先物	22,615.00	115.00	独10年債	0.3425	0.50bp
ロンドンFT	7,577.49	14.27	英10年債	1.2765	0.70bp
DAX	12,394.52	28.94	豪10年債	2.5415	2.10bp
ハンセン指数	27,671.87	▲118.59	USDJPY 1M Vol	6.52	▲0.27%
上海総合	2,729.43	4.81	USDJPY 3M Vol	7.31	▲0.23%
NY金	1,213.30	19.30	USDJPY 6M Vol	7.69	▲0.09%
WTI	68.72	0.89	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	192.08	1.58	EURJPY 3M Vol	8.54	▲0.45%
ドルインデックス	95.15	▲0.52	EURJPY 6M Vol	9.05	▲0.17%

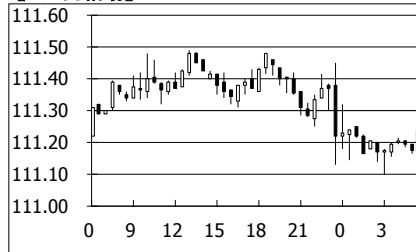
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月24日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	7月 0.9%/0.8%/0.3%	1.0%/0.9%/0.3%
	15:00	独 GDP(前期比)・確報	2Q 0.5%	0.5%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前年比)・速報	7月 -1.7%/0.2%	-1.0%/0.5%
	23:00	米 パウエルFRB議長 講演	「更なる利上げが適切である公算が大きい」	

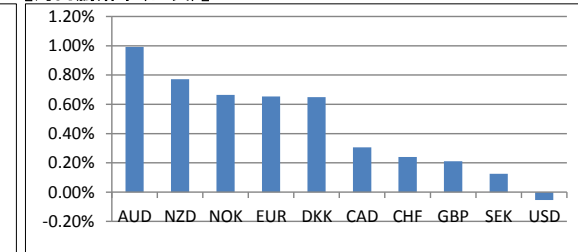
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月27日	17:00	独 IFO企業景況感指数	8月 101.8	101.7
	17:00	独 IFO期待指数	8月 98.4	98.2
	17:00	独 IFO現況指数	8月 105.3	105.3
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	7月 0.45	0.43

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-111.80	1.1550-1.1675	128.70-130.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル/円市場は小幅反落。ブロード米セントルイス連銀総裁がFRBの利上げ打ち切りには言及したほか、パウエルFRB議長がジャクソンホール会議での講演で「米経済は力強く成長する」としながらも、「インフレ2%を超えて加熱するリスクは見えない」と発言したことで、市場では利上げ打ち止め時期が近づいているとの見方が広がり、米金利低下とドル売りにつながった。特段の材料はないが、トランプの北朝鮮に関する発言には引き続き警戒したい。

東京	東京時間のドル円は111.37レベルでオープン。前日からの流れが継続する中、朝方から底堅い展開が続き公示仲値にかけて111.48まで上昇。その後やや値を戻すも、前日比プラス圏で寄り付いた日経平均株価が午後にかけて一段と上昇するとドル円相場も上値を試す展開に約2週間ぶりの高値となる111.49まで上伸。同水準ではドル売り意欲も強く、海外時間にパウエルFRB議長の講演を控えた様子見ムードも相俟ってその後はじりじりとレベルを下げる展開。結局111.36レベルで海外へ渡った。なお豪州では、21日に与党自由党の党首選で勝利したターンブル豪首相が辞任したことにより党首選が再度実施された。モリソン財務相がダットン前内相を破って勝利を収め、同国政局不安が後退したことで0.72台半ばで推移していた豪ドル相場は0.72台後半まで急伸する展開となった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円相場はこの日予定しているパウエルFRB議長講演を控えた様子見ムードが支配的となった。111.36レベルでオープン。111.29-111.48の小幅レンジ内での推移に終始し、結局111.31レベルでニューヨークへ渡った。ユーロドルは上昇した。1.1571レベルでオープン。ブロード・セントルイス連銀総裁による「米国でのインフレ圧力は見られない」との発言に米長期金利が低下、ドル売り優勢地合いとなるとユーロドルは1.1600まで上昇し、上値を探りながらニューヨークへ渡った。ポンドドルは1.2825レベルでオープン。7月の英国新規住宅ローン承認件数が前年比4.3%減少し、英景気先行き不安が広まったこと等から1.2808まで下落した。しかし、その後は全般的にドルが弱含んだため1.2861まで買い戻され1.2845レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	この日予定しているジャクソンホールでのパウエルFRB議長の講演を控えた様子見ムードが強まった海外市場のドル円は111.40を挟んだ狭いレンジで推移するが、早朝にブロード・セントルイス連銀総裁の「インフレ急上昇の兆しがない」、「19、20年に米経済成長が減速する見通し」等の慎重な発言が伝わり、111.29まで下落し、111.31レベルでNYオープン。朝方は米7月耐久財受注が予想を下回ったことから111.25まで下落。注目のパウエルFRB議長の講演開始直後にドル円は買いで反応し111.45まで上昇するが、「インフレが2%を超えて過熱するリスクが見えない」との発言で思ったよりハト派寄りの見方が強まったためか、ドル売りが強まり111.13まで下落。その後はトランプ米大統領が「米朝非核化協議の進展が不十分のため、ポンペオ米国務長官の訪朝の取り消しを指示した」と述べたことから111.10まで続落。週末を控え、終盤は111.20近辺で小動きとなり、結局111.24レベルでクローズ。一方、ブロード・総裁の発言を受けドル売りが強まる中、海外市場のユーロドルは1.1600まで上昇し、1.1593レベルでNYオープン。午前中は上記パウエル議長発言を受け、1.1639まで上昇。その後1.1602まで反落するが、その後は高値圏で小動きとなり、1.1621レベルでクローズ。この日、人民銀行が人民元の中心レート設定において「反循環的要素」の再導入を発表し、自国通貨の下支えに動いたとの見方が強まったことも全面的なドル売りを促している模様。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 福田・鶴田